

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

RSウイルス感染症に注意しましょう！

今週は再び増加しました。報告が多い状況が続いており、注意が必要です。

RSウイルス感染症は、冬季に流行する呼吸器感染症ですが、近年はこの時期から流行がみられます。

生後1歳までに半数以上が、2歳までにすべての小児が感染すると言われています。特に、生後6ヶ月以内の乳児がRSウイルスに初めて感染した場合、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を起こすことがありますので生後6ヶ月以内の乳幼児は感染しないように注意しましょう。

【症状】

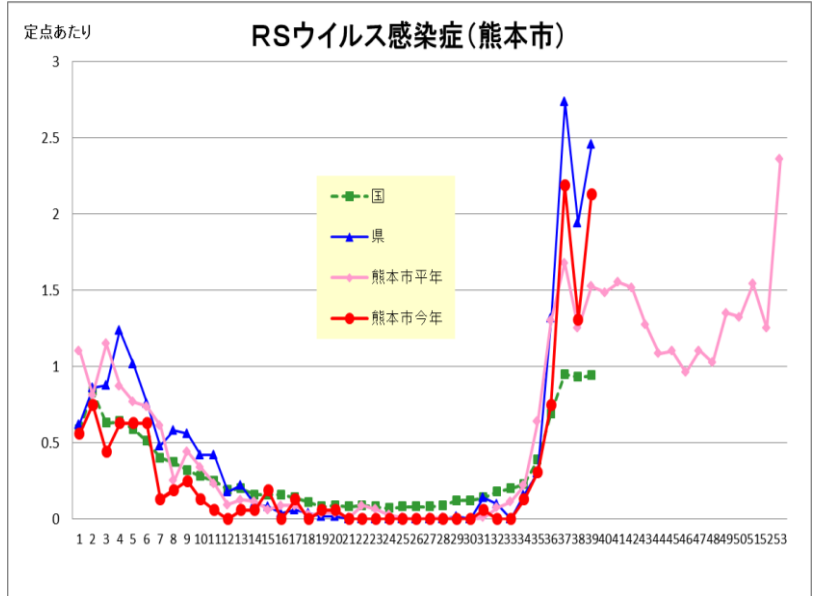
鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1～2週間で軽快します。多くは軽症で済みますが、初めてかかった場合、約3分の1に細気管支炎や肺炎などを起こします。また、一度感染しても再び感染します。

【感染経路】

- ・ウイルスは咳やくしゃみのしぶきからの飛沫感染
- ・感染した人との濃厚接触や手指やドアノブ等を介した接触感染

【予防方法】

- ・外出後の手洗いうがいの励行。
- ・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない。
- ・症状のある人はマスクをする。



期 間		第38週		第39週	
		9/15～9/21		9/22～9/28	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	⬆	21	1.31	34	2.13
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	21	1.31	20	1.25
感染性胃腸炎	⬆	31	1.94	41	2.56
水痘(みずぼうそう)	⬆	4	0.25	16	1.00
手足口病	⬇	14	0.88	7	0.44
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	1	0.06
突発性発しん	⬆	12	0.75	21	1.31
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	3	0.19	5	0.31
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	3	0.19	2	0.13
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	10	2.00	15	3.00
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00